

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年7月5日(2022.7.5)

【公開番号】特開2022-31410(P2022-31410A)

【公開日】令和4年2月18日(2022.2.18)

【年通号数】公開公報(特許)2022-030

【出願番号】特願2021-209583(P2021-209583)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年6月27日(2022.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技の進行を制御する主制御手段と、前記主制御手段からの信号に基づいて、遊技の演出を制御する従制御手段と、を備えた遊技機において、
前記主制御手段は、

始動条件の成立に基づく保留記憶を記憶可能であると共に、前記保留記憶に基づいて遊技者に有利な特別遊技を行うか否かの判定を実行可能であり、
前記従制御手段は、

前記保留記憶を表示手段に表示するように制御可能であると共に、前記表示手段で演出図柄の変動演出を実行可能であり、

前記特別遊技への期待度が高いことを示唆する第1事前報知と、前記第1事前報知と異なる様態で前記特別遊技への期待度が高いことを示唆する第2事前報知と、を実行可能であり、
前記第2事前報知は、

前記主制御手段において前記保留記憶が増減するにも関わらず、前記表示手段に表示される前記保留記憶が増減しない所定状態が生じたとき、前記第1事前報知を継続して実行可能であり、前記第2事前報知を継続して実行しないことが可能であり、
前記所定状態が解消されたとき、前記第1事前報知を継続して実行しないことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記課題を解決するため、本発明によれば、遊技の進行を制御する主制御手段(主制御部110m)と、前記主制御手段(主制御部110m)からの信号(コマンド)に基づいて、遊技の演出を制御する従制御手段(演出制御部130m)と、を備えた遊技機において、前記主制御手段(主制御部110m)は、始動条件(始動口45,47への遊技球の入賞)の成立に基づく保留記憶を記憶可能であると共に、前記保留記憶に基づいて遊技者に

50

有利な特別遊技（大当たり）を行うか否かの判定を実行可能であり、前記従制御手段（演出制御部 130m）は、前記保留記憶を表示手段（第1画像表示装置70, 第2画像表示装置71）に表示するように制御可能であると共に、前記表示手段（第1画像表示装置70, 第2画像表示装置71）で演出図柄（70a）の変動演出を実行可能であり、前記特別遊技への期待度が高いことを示唆する第1事前報知（例えば保留アイコン変化）と、前記第1事前報知と異なる様で前記特別遊技への期待度が高いことを示唆する第2事前報知（例えば可動部材の作動）と、を実行可能であり、前記第2事前報知は、前記主制御手段（主制御部 110m）において前記保留記憶が増減するにも関わらず、前記表示手段（第1画像表示装置70, 第2画像表示装置71）に表示される前記保留記憶が増減しない所定状態が生じたとき、前記第1事前報知を継続して実行可能であり、前記第2事前報知を継続して実行しないことが可能であり、前記所定状態が解消されたとき、前記第1事前報知を継続して実行しないことを特徴とする。10

20

30

40

50